

毎年、石油ストーブの事故が多く発生しています

火を消さずに給油し火災、死亡

事例

石油ストーブとその周辺が焼ける火災が発生し、1人が死亡、1人が負傷した。(2012年3月 和歌山県)



原因

石油ストーブの火を消さずにカートリッジタンクに給油した際、カートリッジタンクのふたの締め方が不十分だったために灯油がこぼれ、ストーブの火が引火したものです。

変質灯油を使用したため火が消えなくなった

事例

石油ストーブの消火ボタンを押して外出したが、戻ったら火が消えていなかった。(2012年11月 栃木県)



原因

変質した灯油を使用したため、芯先に多量のタールが固着して芯が消火位置に戻らなくなり、消火できない状態になったものです。

消えない!!

一酸化炭素中毒で死亡

事例

石油ストーブをつけたまま就寝中、一酸化炭素中毒で死亡した。(2013年12月 島根県)

原因

密閉した室内で使用していたため、給気不足から不完全燃焼状態となり一酸化炭素が発生したものです。



・給油するときは、必ず火を消してください。カートリッジタンクのふたが完全に締まっているか確認してください。

- ・使用する際は、こまめに窓を開けるなど換気をしてください。
- ・灯油はシーズンを持ち越さずに使い切りましょう。変質した灯油を使用すると、芯が下がらずに消火できないなど故障の原因になります。

電気ストーブに毛布などが触れて火災、死亡

事例

電気ストーブとその周辺が焼ける火災が発生し、1人が死亡した。(2012年2月 石川県)

原因

電気ストーブの近くに置いていた毛布や雑誌、衣類などが触れて火がついたものです。



- ・ストーブの近くに燃えやすいものを置かないでください。カーテンの近くで使用するのも危険です。
- ・寝るときは、スイッチを切ってください。寝返りをうったときに、布団や毛布などがストーブに触れると、ヒーターの熱で火がつくことがあります。

リコール製品に気をつけて!!

事例

使用中の電気ストーブ(ハロゲンヒーター)から出火する火災が発生し、ストーブとその周辺が焼けた。(2013年2月 山梨県)

原因

製品に不具合があったため事業者がリコールを行っていた製品による事故でした。



- ・リコール製品から事故が発生しています。リコール製品に該当する場合、直ちに使用を中止して、業者に連絡してください。
- ・リコール製品は以下のNITEホームページで確認することができます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

電気あんかから出火、火災

事例

電気あんかを使用中、あんかとその周辺が焼ける火災が発生した。(2013年1月 福井県)

原因

電気あんかを収納するとき、本体に電源コードを巻き付けていました。そのために本体付け根部分のコードが断線し、発火したものです。



・電気あんかやヘアドライヤーなどを収納するとき、本体にコードを巻き付けしないでください。コードの付け根部分が断線し、発火の原因になります。

スプレー缶が破裂してやけど

事例

石油ファンヒーター付近から出火し、住宅が焼けて1人がやけどを負った。(2013年11月 福岡県)



ファンヒーターの前に置いていたスプレー缶が破裂して引火。(再現実験)

原因

石油ファンヒーターの近くに置いていたスプレー缶が加熱されて破裂し、ファンヒーターの火が引火したものです。



カセットボンベやスプレー缶などは、加熱されると、内圧が上昇して破裂・爆発し、噴き出た可燃性ガスに引火します。ストーブやガスこんろなど熱源の近くには置かないでください。

ガス瞬間湯沸器を使用中、一酸化炭素中毒で死亡

事例

古いガス瞬間湯沸器を使用中、一酸化炭素中毒で1人が死亡、1人が軽傷を負った。(2012年1月 茨城県)

原因

換気扇を使用しなかったため、換気不良になって室内に一酸化炭素が滞留したためです。



開放型のガス瞬間湯沸器は、室内の空気を使って燃焼し、汚れた空気を室内に排出します。換気をしなくて使い続けると、不完全燃焼をおこすおそれがあります。使用時には必ず換気をしてください。
・長期間使っている製品は点検を受けましょう。

電気ミニマットで火災、死亡

事例

使用中の電気ミニマットとその周辺が焼ける火災が発生し、1人が死亡して1人が負傷した。(2013年3月 岐阜県)

原因

布団の中で、電気ミニマットと電気毛布を併用していました。そのためにこもった熱でミニマットのウレタンフォームが劣化し、ヒーター線の位置がずれて重なってしまい、過熱して発火したものです。



・電気マットは就寝時の暖房器具として使用しないでください。また、ほかの暖房器具と併用しないでください。

除雪機に巻き込まれて死亡

事例

使用中の除雪機の下敷きになって死亡した。(2013年1月 長野県)

原因

除雪機が後退したときに巻き込みを防止する装置や事故防止のセーフティスイッチを外していました。そのため、転倒した際に除雪機が後退し、巻き込まれたものです。



・保護装置は常に作動する状態で使用してください。
・除雪機に詰まった雪を取り除くときは、エンジンが完全に止まったことを確認してから雪かき棒などで行ってください。
・使用時は周囲に人がいないか確認してください。

